

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38432
事業名	青少年科学館再整備費					
評価担当課	所属名	教)生涯学習部 生涯学習推進課				
	課長名	村上 玄光	担当者名	三津橋 一成	電話番号	011-211-3871
施策名	主	将来を担う創造性豊かな人材の育成・活用				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	青少年科学館の年間来館者数を(平成30年度の)330,747人から(リニューアルオープン後の令和6年に)400,000人まで増加させる。			
		長期	科学技術の進歩や社会状況の変化に伴い、科学館に求められる機能や役割が変わってきていることから、事業を見直し整備等を進めることで魅力を増加させ、創造性豊かな人材の育成を図る。			
	取組内容	科学の知識がわかりやすく伝わるよう、展示物や施設設備等の更新・改修を行い、繰り返し来館したくなるよう科学館機能を充実する。 そのため、札幌市青少年科学館活用基本構想に基づき、展示物及び施設設備に係る実施設計を進め、リニューアルを行うものである。				
	実施結果	札幌市青少年科学館活用基本構想に基づき、展示物及び施設設備に係る実施設計を行った。				
事業実施における工夫点	施設設備改修では、躯体に影響を及ぼす工事も発生することから、実態に即した設計図書を作成するため、実験室等の実施設計は、(都)建築部に予算委託をしたうえで業務委託を行った。					
対象者	一般市民	開始	平成31年度	終了	令和6年度	
関連法令・条例・要綱等						
他都市の状況	浜松科学館は、平成28年3月に基本構想が策定され、令和元年7月にリニューアルオープン					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	42,486	51,000	49,563	16,000
うち特定財源	0	38,000	0	12,000
人工	2.0	2.0	2.0	2.0
人件費	14,400	14,400	14,400	14,400
計(事業費+人件費)	56,886	65,400	63,963	30,400
事業費の内訳	令和3年度決算	決算額:49,563千円 <内訳> ①札幌市青少年科学館展示展示ゾーン等整備実施設計業務:42,900千円 ②その他:6,663千円		
	令和4年度予算	予算額:16,000千円 <内訳> 青少年科学館改修工事等:16,000千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	青少年科学館の年間来館者数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	116429	185800	166254	140000	
	指標名				
活動指標2	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標1	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	青少年科学館展示ゾーン等整備実施設計業務では、基本設計図書を踏まえて、全体ゾーニングや動線図を始め、具体的な展示物の構成表や展示詳細図に至るまで様々な実施設計図書を完成させた。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	青少年科学館は、開館から40年が経過したことに伴い、展示物の老朽化及び陳腐化が進んできた結果、展示室の全面改修を行うため実施設計を行ったものであり、設計における㎡単価は約19千円/㎡となる。 また、他都市の全面改修の実績と比較しても、仙台市(約18千円/㎡)、浜松市(約30千円/㎡)、福岡市(約23千円/㎡)であるため、事業規模は適正であったと判断できる。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	実施設計業務は、これまでの検討過程を踏まえて更なる議論を重ねる必要があるため、基本設計業務の公募型企画競争において最優秀の提案をした受託者である株式会社トータルメディア開発研究所に、引き続き、業務委託を行った。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	実際の改修工事は令和4~5年度を予定しているため、指標である年間来館者数は事業終了後に達成するよう努めていく。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	なし				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし			見直し効果額 (前年度)	0千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	青少年科学館展示ゾーン等整備実施設計を予定通り終えることができた。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 令和5年度も、引き続き青少年科学館を休館しながら改修工事を行う。			
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 令和4~5年度に改修工事を予定しており、工事費用を予算計上している。			見直し効果額